発表者 大山真子（知育教室）

「ごはん」の表現は、幼児が最初期に知っていたり大切な事柄が表現されたりと、ごはん自体はもちろん、野菜も動物の表現、そして食べてからの表現に対応の表現も豊富に見られ、関係づけられる。
「ごはん」の表現は、幼児が最初期に知っていたり大切な事柄が表現されたりと、ごはん自体はもちろん、野菜も動物の表現、そして食べてからの表現に対応の表現も豊富に見られ、関係づけられる。
ごはんは、日本人にとって、主食であり、ごはんを食べることは、生命を維持するために、とても大切な事柄である。「ごはんを食べる」という表現は、幼児が最初期に知っていたり、